

12月 12-18日

列王第二 16-17 章

115 番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「エホバの辛抱はいつまでも続くわけではない」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王二 17:29 ところが、それぞれの国民が自分たちの神(*神々)を作って、**サマリアの人たち**が造った高い場所にある崇拜の家に置いた。それぞれの国民が、住んでいる町々でそのようにした。

「**サマリアの人たち**」とは①どんな人たちのことか。②やがて、どんな人たちを指すように？

（洞-1 1011）「**サマリア人**」という語は、西暦前 740 年にサマリアの十部族王国が征服された後に初めて聖書に出て来ます。その語は、①**征服される前の北王国に住んでいた人々**を指し、後に**アッシリア帝国の他の地域から連れて来られた外国人とは別**にして用いられていました。（王二 17:29）アッシリア人はイスラエル人の住民をすべて移動させたわけではないようです。というのは、ヨシヤ王の治世中にイスラエル人がまだその地にいたことが歴代第二 34 章 6-9 節の記述（王二 23:19, 20と比較）に暗示されているからです。②やがて、「サマリア人」と言えば、1)**サマリアに残された人々**や 2)**アッシリア人によって連れて来られた人々の子孫**を意味するようになりました。ですから、中には 3)**異民族結婚によって生まれた人々**もいたに違いありません。もっと後代になると、この呼称は**人種的もしくは政治的な含みよりも宗教的な含みを持つ**ようになりました。「サマリア人」とは、**古代のシェケムやサマリアの付近で栄えた宗派に属し、ユダヤ教とは明確に異なる特定の信条を抱いている人を指し**ました。—ヨハ 4:9…（ユダヤ人はサマリア人と関わりを持たないのである）。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（王二 17:16-18）イスラエル王国の人々は**異教徒の信条とエホバに対する崇拜との混合**を続け、子牛崇拜、性崇拜、バアル崇拜、子供を火で焼くことまでして、エホバ神の怒りを買ひ、結局**アッシリア人により征服されるに至った**。

この記録も、今日**崇拜の混合を進めてきた偽りの宗教体制の罪**が如何に**重く**、悲惨な最期を迎えなければならないか、を教えてくれる1つの例といえる。

私たちは、自分たちが**偽りの宗教習慣に決して妥協しない**だけでなく、まだ時間が残されている間、**人々が偽りの崇拜から出るよう、引き続きそうした誠実な人々を捜す活動を続**けていきたい。

聖書朗読（4分）[王二 17:18-28](#)（[教励 第5課](#)）

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。公式ウェブサイトを紹介し、jw.org コンタクトカードを渡す。（[教励 第4課](#)）

再訪問（4分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。「[聖書を学ぶべきなのはなぜですか](#)」の動画を紹介し、話し合う。（再生はしない）（[教励 第20課](#)）

聖書研究（5分）[暮 レッスン 08 副見出し 5](#)（[教励 第9課](#)）

クリスチャンとして生活する

[3 番の歌](#)

「[確信を抱いて体制の終わりを思い描く](#)」（5分）討議。

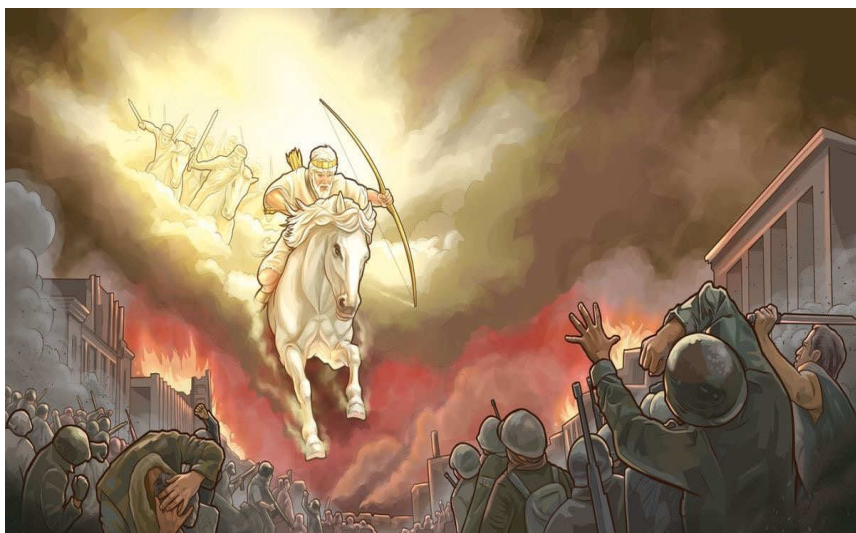
組織の活動の進展（10分）「[組織の活動の進展](#)」の12月の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 31](#)

閉会の言葉（3分）

[74 番の歌](#)と祈り

^ [（王二 16:1-17:41）](#) ユダのヨタム王の子アハズは、レマルヤの子ペカハの治世の第17年に王になった。2 アハズは20歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼はエホバ神から見て正しいことを行わず、父祖ダビデのようではなかった。3 イスラエルの王たちと同じ道を歩み、イスラエル人の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねて、自分の子を火で焼く*ことさえした。4 また、高い場所や丘の上、全ての生い茂った木の下で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりし続けた。5 その頃、シリアのレツィン王とイスラエルの王でレマルヤの子ペカハがエルサレムに戦いを仕掛けにやって来た。彼らはアハズを包囲したが、都市を攻め落とすことはできなかった。6 その時、シリアのレツィン王はエラトを奪ってエドムに取り戻させ、エラトからユダヤ人*を追い出した。こうして、エドム人がエラトに入り、今に至るまでそこを占拠している。7 それでアハズは使者たちをアッシリアのティグラト・ピレセル王のもとに遣わして、こう伝えた。「私はあなたの家来、あなたの子です。私を攻めているシリアの王とイスラエルの王から私を救いに来てください」。8 それからアハズはエホバの家と王の家*の宝物庫にあった銀と金を取り出し、アッシリアの王に賄賂を贈った。9 アッシリアの王は求めに応じ、ダマスカスに行ってそこを攻め取り、住民を捕らえてキルに連れていった。また、レツィンを殺した。10 アハズ王はアッシリアのティグラト・ピレセル王に会うためにダマスカスに行った。ダマスカスにあった



神の言葉の宝

エホバの辛抱はいつまでも続くわけではない

エホバは、**アッシリアがイスラエルを征服するままに**した。（[王二 17:5, 6](#)。[洞-1 1113 ページ 4 節](#)）

イスラエルは**エホバを怒らせることを行い続けた**ので、エホバから**処罰を受けた**。（[王二 17:9-12](#)。[洞-2 839](#)）

エホバは**イスラエルに対して辛抱**し、**繰り返し警告**していた。（[王二 17:13, 14](#)）

優しい天の父エホバは、**不完全な人間に対して辛抱**している。（[ペテ二 3:9](#) エホバ*は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことを辛抱しているのです）とはいえ、

エホバは**ご自分の目的を達成するために間もなく行動を起こし、邪悪な人々を滅ぼす。**

この事実は、**矯正を受け入れ**たり**緊急感を持って伝道し**たりする上で、どのように**助けに**？

^ [（王二 17:5, 6）](#) アッシリアの王は全土を侵略し、サマリアに来て、3年の間そこを包囲した。
6 ホシェアの治世の第9年、アッシリアの王はサマリアを攻め落とした。イスラエルの民を捕らえてアッシリアに連れていき、ハラハ、ゴザン川のそばのハボル、メディア人の町々に住ませた。

^ [（王二 17:9-12）](#) イスラエル人は、エホバ神から見て正しくないことを行い続けた。見張り台*から防備された町に至るまで*、全ての町々に、高い場所を築いていった。10 どの高い丘の上や



クリスチャンとして生活する

確信を抱いて体制の終わりを思い描く

この世界に対するエホバの辛抱は間もなく終わりを迎えます。間違った宗教は滅ぼされ、諸国家の連合体は神の民を攻撃します。そして、エホバはハルマゲドンで邪悪な人々を除き去ります。私たちは、こうした重要で興奮を誘う出来事を心待ちにしています。もちろん、私たちは大患難について細かい点まで知っているわけではありません。例えば、大患難がいつ始まるかを正確に知ることはできません。政治勢力がどんな名目で宗教を攻撃するのかわかりません。神の民に対する諸国家の攻撃がどういったものか、どれほど続くのか、私たちにわかりません。また、エホバがハルマゲドンで邪悪な人々を滅ぼすために、実際にどんな方法を用いるのかもわかりません。

とはいえ、将来起こることに確信と勇気を持って立ち向かうために必要な情報は、聖書に全て収められています。例えば、私たちは「終わりの時代」に生きていることを理解しています。（[テモ二 3:1](#) このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります）宗教に対する攻撃の期間が「短くされ」るので、正しい宗教が滅びることはないということも分かっています。（[マタ 24:22](#) 実際、その期間が短くされないとすれば、誰も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たちのために、その期間は短くされます）また、エホバがご自分に仕える人々を救出することを知っています。（[ペテ二 2:9](#) ですからエホバ*は、神への専心を示す人々をどのように試練から救い出すかを知っています。また、正しくない人々を処罰の日にどのように確実に滅ぼすかも知っています）さらに、エホバが選んだ正しくて力強い方が邪悪な人々を除き去り、ハルマゲドンで大群衆を守ることを知っています。（[啓 19:11](#) 私が見ていると、天が開かれ、白い馬が現れた。それに乗っている者は、忠実で真実な方と呼ばれ、正しく裁き、正義のために戦う、[15, 16](#) この方の口からは長くて鋭い剣が突き出ており、それによって国々を討つ。また、この方は鉄のつえをもって人々を処罰し(*治め)、全能の神の激しい怒りの搾り場でブドウを踏む。16 この方の外衣には、そのもの所に、王の中の王また主の中の主という名が書かれている）

人々は将来の出来事に対する「恐れ.....から気を失います」。しかし、私たちは「真っすぐに立ち、頭を上げ」ることができます。エホバによる過去の救出劇や将来に関する記述を読んでじっくり考えることにより、近づく救出を確信できるからです。（[ルカ 21:26](#) 人々は、世界を襲う事柄に対する恐れと予想から気を失います。天の力が揺り動かされるからです、[28](#) しかし、これらのことが起き始めたら、真っすぐに立ち、頭を上げなさい。あなたたちの救出が近づいているからです）

^ ([テモ二 3:1](#)) このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります。